

# はまなす季刊

医療法人はまなすホームページ <http://www.hamanasugeka.com>

医療法人はまなす **はまなす医院** 〒061-3284 石狩市花畔4条1丁目141番地1  
TEL(0133)64-6622 FAX(0133)64-6555

医療法人はまなす **篠路はまなすクリニック** 〒002-8024 札幌市北区篠路4条9丁目12番45号  
TEL(011)776-3030 FAX(011)776-3001



5月18日、「篠路はまなす消化器外科・腎臓クリニック(仮称)増築工事」の地鎮祭が行われました。

## 医療機関における「ソフトウェア」 はまなす創立20周年にあたり

理事長 工藤岳秋



はまなす医院の前身である「はまなす外科医院」が平成6年3月15日に開院して、この春で20周年を迎えました。

平成6年といえば一般家庭でのパソコン普及率は15%前後であり、院内でコンピューターを利用していたのは医事係と放射線科(CTスキャン)程度でした。

北海道大病院ですら温度板を電子化したのが平成7年頃です。一般の医療機関のIT化などまだ想像も付かない時代でした。現在では診療所レベルでも電子カルテや医療用画像システムを装備し、ペーパーレス、フィルムレスが推進されています。

ハードウェアの進歩に加えて、ソフトウェア開発が進み、より一層効率、利便性が向上しているようです。

今月から「篠路はまなす消化器外科・腎臓クリニック(仮称)」の増築工事が始まります。札幌市最北地域で消化器外科診療を提供すべく、手術室、マルチスラ

イスCT、X線透視装置、上下部消化管内視鏡を備えた地上3階建てを予定しております。ただハードウェアである新たな建物が完成しても、ソフトウェアにあたる私たちの体制が整っていないのでは意味がありません。これからの1年で、腹腔鏡手術に積極的に対応できるチームを編成すること、これまでに患者様に寄り添うため地域の医療・福祉機関の皆様と連携を緊密にすること、開院してからも患者様に満足してもらうべくスタッフ一人ひとりの力を伸ばし続けられるような体制を構築すること、を課題として準備を進めて参ります。

これまでの20年間、御支援して下さった皆様に深く感謝申し上げますとともに、新たなクリニックでも引き続き、「人」は医療の根幹に沿って、患者様一人ひとりに最適な治療を安心して受けて頂けるよう、職員一同努力して参ります。





# はまなす医院 診療体制変更のご案内



## ○さらに充実した医療を提供します

はまなす医院の外来は4月より新しい体制で診療を行っております。

内科診療はこれまでの月曜日、木曜日に加え、消化器専門医が火曜日と金曜日（隔週）を担当することになりました。上下部消化管内視鏡検査はもちろんです、臨床検査技師による月1回のエコー検査も腹部消化器をはじめ、甲状腺・乳腺・心臓など広範囲をカバーしており、確実な診断の支えとなっています。

全身麻酔下で消化器などの手術を随時行っており、内科・外科・麻酔科医師の協力によって緊急手術も可能な体制になっています。

また専門性にかまけることなく、かかりつけ医として患者様の疾患だけではなくその背景も理解し、適切な治療を選択していただけるよう取り組んでいます。

他部門との連携をとりながら、私達外来看護スタッフもより安全な医療を提供できるよう業務に励んでいます。

外来看護主任 田宮 真奈美



外来スタッフ

## はまなす医院 平成26年6月からの、外来担当医のご案内

		月	火	水	木	金	土
外科	午前 受付12:00まで	工藤 岳秋	工藤 謙三	北大出張医	工藤 岳秋	工藤 謙三	北大出張医
	午後 受付16:45まで	工藤 謙三	工藤 謙三	北大出張医	工藤 岳秋 (受付15:30まで)	工藤 謙三	休診
内科	午前	関根 光男	三好 茂樹	休診	石川 洋三	三好 恭子 (第1・3)	休診
	午後	関根 光男	三好 茂樹	休診	休診	休診	休診

## 篠路はまなす クリニック 院長に就任して

三好 茂樹



平成26年4月より篠路はまなすクリニックの院長職を拝命致しました三好茂樹です。私は平成8年に旭川医大を卒業後、同大第三内科学講座に入局し、関連施設では消化器内科や一般内科に従事してきました。2003年からは旭川医科大学院に入学して同大病院に勤務となりましたが、大学では肝臓診療グループに所属し、主に慢性肝炎や肝硬変・肝癌などの診療に携わりながら鉄代謝と脂溶性性肝炎の関連というテーマで、学位を取得いたしました。

当クリニックでは師長を始めとしたコメディカルに支えられながら日々透析診療につき勉強させていただいているというのが現状ですが、日頃より理事長が仰っている当法人の理念である、『人』は医療の根幹」を常に念頭におき、『より患者様に寄り添った透析医療』の実現に少しでも寄与出来るよう精進したいと考えておりますので、皆様、どうぞ宜しく御願ひ申し上げます。





# 透析患者様 送迎のご案内

現在、はまなす医院・篠路はまなすクリニックでは、透析患者様を対象に無料送迎サービスを行っております。

## はまなす医院

### 送迎エリア

月・水・金

- 石狩方面
- 親船・八幡方面

火・木・土

- 石狩方面



送迎スタッフ 2名、送迎車 2台で行っており、患者様 約17名がご利用されております。

## 篠路はまなすクリニック

### 送迎エリア

月～土曜日

- 篠路
- ふとみ
- あいの里
- 太平
- 拓北
- 茨戸
- 屯田
- 新琴似
- 東区(当院より10km以内)



送迎スタッフ 5名、送迎車 6台で行っており、患者様 約60名がご利用されております。

介護の必要な方は、個々で介護タクシーを利用して頂いております。また、祝日・年末年始などの病院の定める休日は送迎をお休みさせて頂いております。あらかじめご了承ください。

●送迎の利用を希望される方はいつでもご相談ください。



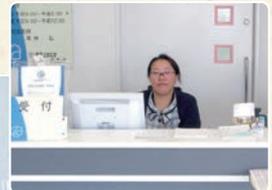
医療事務としてはまなす医院に務めて1年が経ちました。

最初は、仕事を覚えるのが大変でくじけそうになった事もありました。

しかし患者様は心優しい方が多く「仕事がんばってね」「風邪ひかないようにね」など温かい言葉をかけていただき、とても励みになっています。

これからも患者様に安心して来院してもらい、「はまなす医院に行って良かった」と思っていただけのように日々努力していきたいと思っております。

医事課 佐藤理沙



篠路はまなすクリニック受付

はまなす医院受付

# 祝 はまなす医院 開院20周年

20年前、はまなす外科医院ができたころ私は育児で休業中でした。生活圏内という認識はあったものの、ここに就職し、16年経った今も勤務しているとは夢にも思っていませんでした。

就職した当時は入院患者さんも数人しかいませんでしたが2～3年後には手術件数も透析患者様も増え、手狭に感じるようになりました。

平成13年に増築して現在の規模になり、その数年後にはサテライトである篠路はまなすクリニックが開院しました。この間、スタッフや医師が世代交代し、知識や技術が更新・蓄積されました。新しい治療手技を加えながら今も成長中です。

来年は、フレッシュな建物とフレッシュなスタッフに20年間の経験を注入し、一回り大きく育ったはまなすを篠路の地で見ただけだと思います。

医療法人はまなす 開院20周年記念祝賀会



篠路はまなすクリニック 看護師長 吉田 薫

## 「篠路はまなす消化器外科・腎臓クリニック」増築工事を開始します。

表紙の写真のように地鎮祭も滞りなく済み、平成27年春のオープンを目指していよいよ着工となります。通院中の患者様、周辺住民の皆様にはしばらく御不便をおかけいたしますが、ご協力宜しくお願い申し上げます。工事の進捗状況は本紙上で随時お知らせしてまいります。



長い冬も終わり、ぽかぽか陽気に誘われて散歩したくなる季節がやってきました。

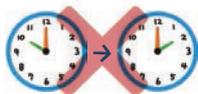
外の空気を思いっきり吸い、太陽の光を浴びるのは気持ちのいいものですが、浴びすぎは人体や皮膚に悪影響を及ぼすことを御存知ですか？

太陽の光は様々な波長の光が集まっており、そのなかに「紫外線」があります。紫外線は、日焼け、しわ、シミ等の原因となるだけでなく、長年浴びていると時に皮膚がんや白内障を引き起こすこともあります。

紫外線量は季節によって変動します。4月～9月頃にかけて特に多し、6月にはすでに真夏と同じくらいの対策が必要です。

効果的  
な  
対策

① 紫外線の強い時間帯(10時～14時)の外出をさける。



② 日陰を利用する。



③ 日傘を使う、帽子をかぶる。



④ 衣服で覆う。



⑤ サングラスをかける。



⑥ 日焼け止めを上手に使う。



紫外線は悪影響ばかりではなくカルシウム代謝に重要な役割を果たすビタミンDを皮膚で合成する手助けもします。適度に浴びてその恩恵を受けながらも、過剰にさらされて健康への悪影響が出ないようにすることが大切といえます。

看護師 原 明美

参考文献：環境省「紫外線環境保健マニュアル 2008」



編集  
後記

朝の通勤中、見るからに新一年生であろうと思われる大きなランドセルを背負った子供たちを見かけました。

子供たちからは不安と期待の入り混じった表情がうかがえます。誰でも初めは不安でいっぱいですが、日々の積み重ねが経験となり不安を自信に変えてくれます。

はまなす医院もピカピカの一年生から20年の月日が流れました。自信をもって皆様をお迎えできるよう、より良い医療の提供をめざす私たちの取り組みを今後もこのはまなす季刊を通してお伝えしていけたらと思います。

(A.H)